

見えない危険から車両を守りましょう！

バスのフレームを錆から守る整備術

道路で使用される多量の凍結防止剤等が原因で、車両下部の床下部品に早期腐食が発生する恐れがあります。また、フレームや足回りの錆による腐食は、部品の強度を低下させ、最悪の場合、錆による板厚減少によりフレーム等の破損につながることもさえます。こうした事態を防ぐには、防錆力を確保する日常点検が不可欠です。そこで、フレームを錆から守る整備術を改めてご紹介します。



腐食による破損例



冬場に使用された融雪剤が付着していると錆を促進させる要因になります。三菱ふそうサービス工場では適切な点検を受けられることをおすすめします。

錆を促進する要因は

融雪塩
(凍結防止剤)

煤煙、油煙、粉塵、
鉄粉、石灰粉、
火山灰など

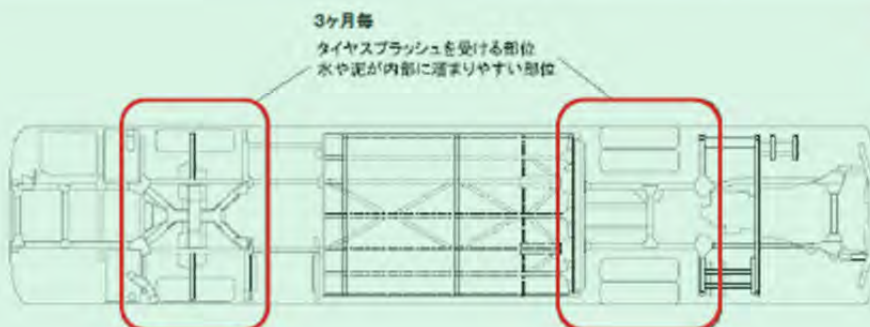
海塩粒子
(海水、波しぶき、潮風)

樹液、鳥の糞、
虫の死骸

飛び石

錆を防ぐための定期メンテナンス法は

メンテナンス時期	メンテナンス作業	部位
運行後、毎日 ※1	洗車 (床下、足廻り含む)	<ul style="list-style-type: none"> ■ シャシ全体 (床下全面、足廻り) ■ ボデー全体
定期点検時 (3ヶ月毎)	点検 錆発生部の錆落とし 防錆塗装または防錆 WAX 塗布	<ul style="list-style-type: none"> ■ タイヤスプラッシュを受ける部位 ■ 水や泥が溜まりやすい部位
1年毎の車検時	点検 錆発生部の錆落とし 防錆塗装または防錆 WAX 塗布 床下全面に防錆塗装塗布 (錆発生が無い場合でも塗布)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 上記以外の部位 ■ シャシ全体
5年毎の車検時	6ヶ月毎、1年毎のメンテナンス で行き届かない角パイプや閉断面 内部に防錆 WAX 塗布 (錆がない場合でも塗布)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 角パイプや閉断面内部



3ヶ月毎
タイヤスプラッシュを受ける部位
水や泥が内部に溜まりやすい部位

※1 凍結防止剤を散布した道路等を走行した後及び冬季シーズン終了後

洗浄方法は

- 洗浄の水は塩分を含まない水（水道水）を使用してください。
- シャシ部品に付着した凍結防止剤、泥、ホコリ等を落とすため
 高压洗車で洗浄してください。
- 特に、フレーム構造部材や足回り部分等、凍結防止剤が溜まり
 易い場所は入念に洗浄してください。
- フレームで閉断面構造の部分は内部に泥、凍結防止剤、塩分等が
 残っている場合があるので定期的に内部洗浄を行ってください。
- 洗浄後、錆のある部分は錆を除去し、洗浄後に防錆塗装を施して
 下さい。

注意

高压洗浄機で洗浄する際は、事前に取り
 扱い説明書に記載がある高压洗浄禁
 止部位をご確認の上、洗浄を行って下
 さい。また、下廻りの洗浄はくれぐれ
 もケガをしないよう注意して下さい。

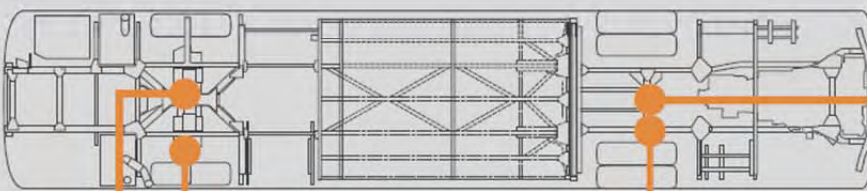
特に注意して定期的に確認・清掃が必要な箇所

タイヤスプラッシュを受ける部位の中でも、以下の部位は機能上重要な部位であるため注意が必要です。

- ・センターメンバ及び周辺
- ・エアスプリングブラケット
- ・ラテラルロッドブラケット
- ・リヤサポートビーム
- ・リヤアクスルハウジングカバー

点検ハンマーによる
 点検例のビデオを参
 照願います。

[バスの場合]



RRアクスル周り



センターメンバ部



FRエアスプリング部



RRエアスプリング部

※防錆塗装の方法、点検、補修要領の詳細につきましては「三菱ふそうバス車両床下の防錆点検と補修要領」を
 ご覧ください。

点検・整備についてご不明な点などございましたら、お近くの三菱ふそうサービス工場にお問い合わせください。